【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【公表番号】特表2013-506429(P2013-506429A)
【公表日】平成25年2月28日(2013.2.28)
【年通号数】公開・登録公報2013-010
【出願番号】特願2012-532469(P2012-532469)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/48　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/96　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/48　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　33/96

【手続補正書】
【提出日】平成25年4月24日(2013.4.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
試験バッチ中のＮＡＤ（Ｐ）Ｈ又はＮＡＤ（Ｐ）Ｈ類縁体の酸化的消費に基づき、活性化された第ＸＩＩＩａ因子のトランスグルタミナーゼ活性を測定し、前記測定された測定値を、参照材料を用いて測定される参照値と比較する、血漿試料中の第ＸＩＩＩ因子の定量的測定方法において、少なくとも、標準に対して低減された第ＸＩＩＩ因子活性を示す参照材料が、血漿からなることを特徴とする、測定方法。
【請求項２】
標準に対して低減された第ＸＩＩＩ因子活性を示す少なくとも１つの参照材料が、標準血漿と第ＸＩＩＩ因子欠失血漿との混合物からなる、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
標準に対して低減された第ＸＩＩＩ因子活性を示す少なくとも１つの参照材料が、単離された第ＸＩＩＩ因子が添加されている第ＸＩＩＩ因子欠失血漿からなる、請求項１又は２に記載の方法。
【請求項４】
第ＸＩＩＩ因子活性を示さない参照材料が第ＸＩＩＩ因子欠失血漿からなる、請求項１～３のいずれか１項に記載の方法。
【請求項５】
１００％の第ＸＩＩＩ因子活性を示す参照材料が標準血漿からなる、請求項１～４のいずれか１項に記載の方法。
【請求項６】
標準に対して高められた第ＸＩＩＩ因子活性を示す少なくとも１つの参照材料が、単離された第ＸＩＩＩ因子が添加されている標準血漿からなる、請求項１～５のいずれか１項に記載の方法。
【請求項７】
活性化された第ＸＩＩＩａ因子のトランスグルタミナーゼ活性が試験バッチ中のＮＡＤ（Ｐ）Ｈ類縁体の酸化的消費に基づいて測定され、前記ＮＡＤ（Ｐ）Ｈ類縁体がチオ－ＮＡＤ（Ｐ）Ｈ又はセレノ－ＮＡＤ（Ｐ）Ｈである、請求項１～６のいずれか１項に記載の

方法。
【請求項８】
第ＸＩＩＩ因子の定量的測定方法のための参照材料を調製するための第ＸＩＩＩ因子欠失血漿の使用。
【請求項９】
標準血漿と第ＸＩＩＩ因子欠失血漿との混合物からなることを特徴とする、標準に対して低減された第ＸＩＩＩ因子活性を示す参照材料。
【請求項１０】
凍結乾燥されていることを特徴とする、請求項９に記載の参照材料。
【請求項１１】
請求項９又は１０に記載の、標準に対して低減された第ＸＩＩＩ因子活性を示す参照材料を、少なくとも１つ、有するキット。
【請求項１２】
更に第ＸＩＩＩ因子欠失血漿を備える請求項１１に記載のキット。
【請求項１３】
更に標準血漿を備える請求項１１又は１２に記載のキット。
【請求項１４】
少なくとも１つの標準血漿及び１つの第ＸＩＩＩ因子欠失血漿を、個別のユニットとして、備えるキット。
【請求項１５】
更に、第ＸＩＩＩ因子の定量的測定方法の実施のための少なくとも１つの試薬を備える、請求項１１～１４のいずれか１項に記載のキット。